

# 六日小だより

創立 98周年  
令和6年3月25日  
荒川区立第六日暮里小学校  
令和5年度 第14号  
発行者 島 埜 秀 男



## 1年間ありがとうございました ～究極の幸せを求めて～

校長 島埜 秀男

学校の桜の花が開花し始め、一人一鉢の花々も彩を添え、卒業、進級を祝うように校庭を華やかにしています。今、一つの節目を迎え、希望とちょっぴりの不安をかかえた春休みを過ごすことと思います。

4年前のコロナ禍の中の春休み号で私は、「究極の幸せ」についてお伝えしていました。コロナによる制限が解除され改めて考えてみました。ある禅寺の住職は、「人に愛されること」、「人に褒められること」、「人の役に立つこと」、「人に必要とされること」の4つだとおっしゃっています。

すべてコロナ禍では配慮しなければならなかった人との関わりの中でしかできないことです。では、この4つの究極の幸せを手に入れるには、どうしたらいいのか考えてみましょう。

人に愛されるためには、お互いを理解し合い、一人ひとりの思いを大切に尊重し合える関係をつくれる力が必要になります。

人に褒められるためには、責任をもって役割を果たせる力や周囲に感謝の気持ちをもって行動できる優しさや素直な心が必要になります。

人の役に立つためには、様々なことに関心をもち、人が何を望んでいるか推し量る力が必要です。また、目的を果たすまで、試行錯誤しながらやり抜く強い精神力も大事です。

人に必要とされるためには、多くの経験を積み重ね、頼りにされるように絶えず成長していくとする向上心が必要です。どれも短期間で身に付くものではありません。

このように考えて見ると「究極の幸せ」を手に入れるためには日々の努力が必要であることがわかります。ごく当たり前のことですが、今日が、明日にそして1週間、1ヶ月、1年となっていくます。今を大切に過ごすことが、人に愛され、人に褒められ、人の役に立ち、人に必要とされる究極の幸せをつかむことになるのだと思います。同時にその弛まぬ努力は、夢の実現の近道となるはずです。さらに考えると自分自身が究極の幸せを求めていくことは、関わるすべての人たちを幸せにすることにもなります。



最後になりましたが、本年度1年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。来年度も第六日暮里小学校並びに子供たちの成長を温かくお見守りください。

## <4月の行事予定>

※寺子屋については学年便り等でお知らせします。

※感染状況により、予定を変更することがございます。



月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5 春季休業日終 前日準備 (新2・6年登校)	6
8 始業式 入学式 交通安全始	9 給食始(2~6年)	10 給食始(1年) 発育測定(4~6年) 安全指導	11 委員会(6校時) 発育測定 (1~3年)	12 区学力向上のた めの調査 (2~6年)	13
15 全校朝会 たんぼぼ旬間始 視力検査 (4~6年)	16 視力検査 (1~3年)	17 尿検査 幼保小中交流会 午前授業 (3~6年)	18 全国学力・学習状 況調査(6年) 尿検査(予備日)	19	20 授業公開日 1年生を迎える会 (3校時) 引き取り訓練 (授業終了後)
22 全校朝会 保護者会 (1~3年, 14:00~) (全体会, 15:00~) (4~6年, 15:15~)	23	24 クラブ	25 特別時程 校外班編成 (5校時) 歯科検診(全)	26 離任式(5校時) (1年4時間授業) (2~6年5時間授業) 心臓検診(1年)	27
29 昭和の日	30 特別時程 たんぼぼ旬間終				

「震災(東日本、能登半島)・ウクライナ支援募金」にご協力、ありがとうございました!

**22,424円集まりました。**

(ウクライナ:5,919円 東日本:6,469円 能登半島:10,036円)

3月11日~13日に児童計画委員会の児童が登校時に募金活動を行いました。

六日小では、5年生が「震災」をテーマに学習し、それを受けての募金活動を毎年行っています。

また、一昨年度からのウクライナ情勢や能登半島での地震を鑑みて、児童計画委員会で話し合いを行い、ウクライナ支援募金、能登半島震災募金も行うこととなりました。ご家庭や地域の方々にもたくさんご協力いただきました。ありがとうございます。集まった募金は、内閣府・日本赤十字社を通して被災地・ウクライナ支援に届けられます。(児童計画委員会担当)

